

これまでの都市計画審議会でもいただいたご意見等と回答（立地適正化計画関係）

令和6年度第3回 都市計画審議会（R7.3.19）

ご意見等	回答	対応状況
都市機能誘導区域について、駅周辺は地価が高いと思うが、補助金や税負担の軽減などの財政措置はあるのか。何かメリットがないと民間企業も来ないように思う。	国による支援制度として、市町村が都市再生整備計画を策定し、立地適正化計画に基づく事業に対して個別支援を行うことができる都市構造再編集中支援事業があります。 また、他市町村では、独自の都市誘導区域への誘導施策として補助金や固定資産税等の免除を行っている例があります。	対応済
瀬戸市が令和5年4月に立地適正化計画を策定し、その中で市独自に「居住維持区域」を設定している。日進市も居住環境を維持するような区域というものを独自で設定していくのか。	瀬戸市の場合は、市街化区域内で「居住誘導区域」と「居住維持区域」を分けて設定をしています。日進市の場合、市街化区域内の状況を考慮し、市街化区域全域を基本的には「居住誘導区域」と設定しています。	対応済

令和7年度第1回 都市計画審議会（R7.6.27）

ご意見等	回答	対応状況
「第1章 3.公共交通（2）バス」【現状】の東郷町「じゅんかい君」が米野木駅にも結節しているが、その部分の記載が抜けている。	修正しました。	対応済
ワークショップにどのような意見があったかなど都市計画審議会にて教えていただいたり、ワークショップ報告書のような文書化したものをホームページなどで公表したりするのか。	ワークショップの概要や参加者の主な意見を記載した報告書をホームページに掲載しました。また、ホームページに掲載した資料を第2回都市計画審議会資料として配布します。	対応済
「序章 2.立地適正化計画の位置づけ等（4）計画期間」の記載で、計画期間の下のところが必要に応じて見直す場合があるという趣旨の文章を入れることがあるので、参考にしてもらえればと思う。	意見を参考に以下のとおり追記しました。 「また、策定から概ね5年ごとに計画の評価を行い、必要に応じて、本計画の見直しを行うものとします。」	対応済
第1章各項目の【現状】【将来】の記載が続いている計画書構成の中で、「第1章 2.土地利用（2）土地区画整理事業」の【将来】は、「～検討します。」と方針が記載されているので、修正が必要なのではと思う。	「第1章 2.土地利用（2）土地区画整理事業、（3）開発の動向」【将来】の記載内容を以下のとおり修正しました。 「土地区画整理事業が順次施工済となることで、事業地内において、道路・公園などの公共施設が整備・改善されるとともに宅地利用に伴う人口増加が見込まれます。」	対応済
第1章各項目の記載の方法として、現状及び将来の見通しでは、各項目最終ページに現状などを記載し、課題を下部にまとめて記載している。各項目ページ【現状】【将来】のところは課題まで記載した上で、最後にまとめて書いてもよいのかなと思うがいかがか。	課題の記載方法については、各項目ページでの記載内容が増えてしまうことで見づらくなる可能性もあるため、当初案の記載のままとしました。	対応済
「第1章 2.土地利用（3）開発動向」の下図が見づらいが何らかの方法はあるのか。開発許可という文章だけでは開発許可がどのようなものなのかの説明が不足しているように感じるがいかがか。	開発許可の説明については、全体計画の最後に用語解説として、補足説明を記載することとする。	対応予定

ご意見等	回答	対応状況
「第1章 3.公共交通 (2) バス.イ.利用状況」くるりんばす利用者数は、地域公共交通会議で2024年の数字が公表されているが、2023年の数字でよいのか。	くるりんばす利用者数について、2024年データを追記しました。 名鉄バス利用者数については、データ公表と計画策定進捗状況に応じて、可能な範囲で対応します。	対応済
「第1章 3.公共交通 (4) 住民等の移動手段」高齢者の移動手段として、自転車で移動しやすいまちづくりは一つの課題と感じている。自転車道の整備なども含め、計画書の中に記載をしてはいいか。	自転車道の整備については、立地適正化計画では記載せず、個別事業での計画で記載することとします。	対応済
「第1章 5.都市基盤」の分析や課題について、もう少し記述があってもよいと思う。例えば「(1) 都市計画道路」の現状・将来の記述について、野方三ツ池公園線を今後整備していくことや2040年に向けてどう整備していくかという点や課題の記述で公園が一部地域でカバーできていないという点は記述があってもよいと思う。	「第1章 5.都市基盤 (1) 都市計画道路」【将来】の記載内容に都市計画道路野方三ツ池公園線の記述を追記しました。 「・都市計画道路野方三ツ池公園線が整備されることで、香久山、野方町、浅田町を結ぶ、新たな南北軸を結ぶ幹線道路ネットワークが強化する見込みです。」 公園が一部の地域でカバーできてない点について、「都市基盤の課題」の「快適な生活環境を支える都市基盤を適切に維持・管理、更新していくことが必要」という記述に含めております。	対応済
「第1章 6.財政」の図については、2024年のデータが出せるのであれば、載せてほしい。	データ公表と計画策定進捗状況に応じて、可能な範囲で対応します。	対応予定
令和6年のパーソナリティ調査の最新データが集計できるのであれば、分析してみるのはいいかと思う。	データが整い次第、修正します。	対応予定
現況分析をもとに、市街化区域で居住誘導区域・都市機能誘導区域をどの範囲で設定するのか、都市機能誘導区域の中にどのような誘導施設を設定するのかということを決めていくことになるので、計画書の記載については、基本的には市街化区域に焦点をあてた記載にした方がよいと思う。	市街化調整区域の記載については、必要最小限にとどめ、記載内容は工夫します。	対応済
都市マスと立適の現況分析でそれぞれに必要な現況分析が混在していると思うので、整理が必要である。特に、コンパクトという観点からすると財政の部分が重要になると思う。	立地適正化計画の策定では、財政の部分との関連は重要であると考えているので、都市マスにも記載してある「公共施設等修繕更新費用」の図を「6・財政(3) 公共施設にかかる費用」として追加しました。	対応済
渋滞緩和や公共交通の利便性向上について具体的な計画を盛り込んでいく考えはあるか。	具体的な計画については、立地適正化計画では記載をせず、個別事業での計画で記載します。 一方で、コンパクト・プラス・ネットワークのネットワークの部分は、必要に応じて記載をします。	対応済
都市機能として商業、医療、病院などの施設を記載しているが、その他にも庁舎、図書館なども生活に直結する必要な機能ではあると考えているので、それら公共施設などが徒歩圏で示さなくてもどのような場所に分布しているかは記載してもよいと思う。	市役所や図書館、スポーツセンターなどの公共施設がどのあたりに分布しているかを現況分析するために、「4・都市機能(1) 市役所庁舎その他施設、(2) 学校施設」の図を追加しました。	対応済
都市機能として、記載がないものとしては、市役所、図書館、博物館、集会ホール、教育施設として小中学校等があるので、再度検討してもよいと思う。	市役所や図書館、スポーツセンターなどの公共施設がどのあたりに分布しているかを現況分析するために、「4・都市機能(1) 市役所庁舎その他施設、(2) 学校施設」の図を追加しました。	対応済
老朽化した都市インフラの改修事業も記載することができるので、必要であれば関連施設の記載を検討してもよいと思う。	必要に応じて、記載をします。	対応済